

高速道路沿線自治体の地域見守り活動に参画し、地域支援を進めています。

NEXCO中日本は、高速道路ネットワークの機能をより高めていくことにより地域間の交流や連携（地域連携）を促進することで、高速道路沿線の地方公共団体とのコミュニケーションを強化し、地域が抱える課題の解決や地域活性化に取り組んでいます。

NEXCO中日本名古屋支社（名古屋市中区 支社長：近藤清久）では、地域連携の取り組みの一環として、高速道路の日常管理業務を通じて、道に迷った方などによる道路への立ち入りや重大事故に繋がる危険行為、高齢者の一人暮らしなどの地域が抱える課題に対し、各地の自治体が行っている誰もが安心して暮らすことの出来る地域づくりを支援するため、高速道路沿線自治体と地域見守り活動の協定を締結し、地域支援の輪を広げています。

1. 活動内容

高速道路の工事や点検、高速道路内外の管理巡回（パトロール）などの日常業務での「気づき」を地域貢献に活かせるよう、沿線自治体が推進する地域見守り活動に参画します。

次のような事象を発見した場合は、市や警察などの関係機関に通報し、協働して支援します。

- ・ 道に迷っている子どもや高齢者
- ・ 玄関や郵便受けに新聞や郵便物が溜まっている
- ・ 幾日も外灯や室内の電灯が点灯しない
- ・ 数日間、庭先に洗濯物が干されたままとなっている
- ・ 廃棄物の不法投棄
- ・ その他日常と明らかに様子が違う状況が見受けられるなど



高速道路沿線の敷地巡回の状況

2. 対応事例

- ・ 2017年12月、豊田東インターチェンジ付近で乗用車が停止し、立ちつくす高齢男性を発見。「道に迷った。自宅に帰りたいが今どこにいるのかも、帰り道も分からない。」とのことであったため、住所を確認し、道路巡回車でご自宅まで送り届けた。
- ・ 2018年3月、豊田東インターチェンジ付近で車両前面がひどく損傷した停車中の乗用車を発見。「自分がどこから来たか分からない。」とのことであったため、警察に通報し、引き渡した。

3. 活動範囲

1 県 3 3 市を含む 4 2 の自治体と協定等を締結し、高速道路沿線の地域見守り活動を実施しています。

(2018 年 3 月 25 日時点)

協定等締結済み[※]の自治体 (50 音順)

愛知県	あま市、一宮市、岩倉市、大府市、岡崎市、春日井市、刈谷市、清須市、小牧市、東海市、豊明市、豊田市、長久手市、名古屋市、日進市、みよし市
岐阜県	恵那市、大垣市、各務原市、可児市、郡上市、関ヶ原町、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、御嵩町、
滋賀県	愛荘町、甲良町、多賀町、長浜市、東近江市、彦根市、米原市
長野県	長野県
三重県	伊勢市、木曾岬町、桑名市、多気町、玉城町、津市、四日市市

※届出制の自治体及び自治体側に協定等の制度がなく異常が発見された場合に通報する旨を協議済みの自治体を含む。

このような地域見守り活動の取り組みを進めることにより、道に迷われた方による高速道路への立ち入りの未然防止や事故防止など高速道路の安全性向上につながるものと期待しています。

今後も引き続き、他の沿線自治体との協定締結を進め、地域の課題解決や活性化に貢献していきます。



[高速道路(料金所入口)への立ち入り事例]